



題字 井口 文章
再刊 第235号
印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会
編集室 2017

みんなでつくる
錦城高校新聞

1面…正しくゴミ分別できていますか?
野球部 西東京大会 4回戦突破!
2面…生徒会、現状を見つめぬ
3年生「次の選挙行きたい」8割

正しい分別、知っていますか?

錦城のゴミ分別の実態調査

最近、錦城生がゴミの分別をできていないことが問題になっている。そこで錦城生のゴミの分別の実態調査をし、正しい分別の仕方や、地域ごとの分別の仕方の違いなどを調べてみた。

テスト前にゴミの分別について注意喚起されていたのを覚えていたのだろうか。中央委員が昼の放送で2回注意を促し、またHR委員会でも話題となり各クラスに伝えられた。栗林先生によると、それら



可燃ゴミの袋の中からストローが付いた紙パックを取り出し分別する



不燃ゴミの中に入っていた紙パックや割り箸、紙くずなど

その結果、全体的に可燃ゴミと不燃ゴミの分別はしっかりとできている印象。しかし、ビンや飲み残した紙パックのストロー、パンなどの袋の分別がどのクラスも間違っている。いくつかのクラスでは何本かペットボトルが捨てられていた。調査している際に、生

旧校舎と武道場は2学期からLEDに



LEDの取り付け作業をする業者の方々

理由から2Lがプレレストとして選ばれた。そこで、責任者で事務長の眞野満さんに話を聞いた。眞野さんによると、今回2号棟をLEDにすることになった理由は2つ。1つは、現在2号棟で使用している照明器具の生産が停止してしまうこと。2つは、LEDの照明器具の生産が停止してしまうこと。今回は2号棟のみだが、いずれは1号棟(新校舎)も交換するそうだ。実際に変更された感想を

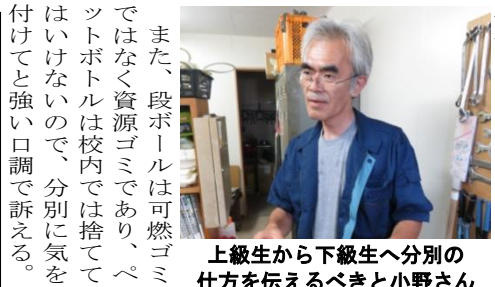
6月22日(木)に2Lの照明がLEDに交換された。2号棟(旧校舎)と武道場は全てLEDになる予定で、職員室全教室の照明を替える必要があったという。もう1つは、2号棟で使用している照明器具の生産が停止してしまうこと。今回は2号棟のみだが、いずれは1号棟(新校舎)も交換するそうだ。実際に変更された感想を

る、明るくなり黒板が見やすくなった。など良い印象を受けているようだ。夏休み中に、2号棟と第二体育館の照明は全てLEDに変更される。ただ、多目的ホール照明は、2学期中間テスト中に替える予定だ。交換の際には、練習で教室を利用している部活には退去してもらう予定だという。「部活動を禁止してもらうほどではないです」と眞野さんは話した。明るくなった教室の中で勉学に励んでいこう。(緋)



七夕飾りで星に願いを

期末テスト前日の7月6日(木)、翌日の七夕に向け、新校舎3階の3M教室前に見事な七夕飾りが飾られた。笹は曹順一くんら3M男子3名が小平ふるさと村でもらってきたそう。企画者の土田裕己くん(3M)は去年もこうした飾りを作ったが「今年は廊下に置いたことで他クラスの人や先生を含め100枚ほど短冊を飾ってもらいました」と嬉しげに答えてくれた。



上級生から下級生へ分別の仕方を伝えるべきと小野さん

また、段ボールは可燃ゴミではなく資源ゴミであり、ペットボトルは校内では捨ててはいけないので、分別に気を付けてと強い口調で訴える。小野さんは「分ければ資源、混ぜればゴミ」という標語も紹介してくれた。最後に小野さんは「上級生から下級生に分別を教えていくべきだと思います。今は学年ごとの仲間意識が強いので、学年の垣根を越えて分別方法を教え合ってほしいですね」と語った。

どを安易にゴミ箱に捨てないなど、生徒ひとり一人が少し気を付ければ十分に解決できる問題だ。ゴミの分別は公共の場で守るべき当然のルールとして、これからも心がけていくべきではないだろうか。(編集部共同取材)

分ければ資源、混ぜればゴミ 錦城高校のゴミの管理を担っている菅野の一人、小野泰浩さんにお話を聞いた。小野さんによると、ゴミの分別は8割くらい出来ているため、菅野の方々が分別をすることは少ないそうだ。「しかしあまりにもあからさまに可燃ゴミの中に不燃ゴミが混ざっている」と、私たちが分別することになるので結構困ります」と話す。



ゴミ箱に貼っている分別表を見ているだろうか

別々の違いを理解しよう 校長先生は錦城生が分別が出来ていないことについて「地域ごとで分別の仕方が違ってくるため、本人にとっても分別していると思ってる場合があるのではないかと話す。そこで編集部は、錦城内と、錦城生が多く住んでいる地域3つの分別の仕方を取り上げ、比較した表を作った。(左下)表を見ると地域ごとが異なるの仕方が違うことが分かる。これを参考に、一度自分の住んでいる地域と錦城の分別の仕方の違いを再確認してほしい。私たちの生活をもっと気持ちの良いものにするためにも、今一度普段のゴミの捨て方について考えてみたい。

Table with 5 columns: 可燃ゴミ, 不燃ゴミ, 資源ゴミ, その他, and specific items like paper, plastic, glass, metal.

校内と、錦城生が多く住んでいる3つの地域、小平市・練馬区・所沢市のゴミの分別の仕方の違い

野球部西東京大会ベスト16

悲願の神宮球場まであと一勝

第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会第4回戦、錦城高校対拜島高校の試合は7月18日(火)にネット多摩野島スタジアムで予定されていたが、雷雨により延期となり、19日(水)市営川球場で行われた。



力強い投球をする藤田くん

自分たちのプレーを大切に

主将の小筆陸太くん(3B)はこの試合の勝因を「みんなが一丸となって、最後まで気を抜かず、気持ちよくプレーすることができたことだ」と話す。「本当にピッチャーの藤田くんが頑張ってくれました。その他にも自分の前に良い選手がいたからというので、自分もそれを活かして取ってほしい。



「ベスト16は通過点」と語る小筆くん

7月14日(金)付けの朝日新聞に、取材された記事が掲載された。この試合は今日までの中で良かったゲームの一つには入ると思う」と答えた。先生「まあ錦城生としては粘り強かったんじゃないですかね」と笑いながら話してくれた。

今日の試合については「最初に3点を取ることができたのが良かった。この試合は今日までの中で良かったゲームの一つには入ると思う」と答えた。先生「まあ錦城生としては粘り強かったんじゃないですかね」と笑いながら話してくれた。

「目標は神宮球場」 4回戦を終え、監督の郷野康輔先生は「ひとまず勝ってほしい」と話していた。

むらきき草

家族での遠出の際、高速道路のサービスエリアでピッチャーをする女性を見た。彼女は車の中で、旅の話をして色々と話してくれた。トラックなど普段乗ることがないような車に乗せてもらって、それは見る景色が全然違うことに気がついたり、それまで全く知らなかった土地で「今度こちへ来たら泊まってもいいよ」と言ってくれる新しい知り合いがいたりしたこともあった。あるところへピッチャーを始め、日々新しい発見ばかりだ。初めの頃は怖かったが、今もまだ少し怖いけれど、日本だけでなく世界中に知り合いがいるという事実を受け止めてくれた。坂爪さんは自身の旅の様子や人生観をブログやツイッターなどで発信している。最近では、ブログ読者から譲り受けた熱海の家を、誰でも使えるように開放している。興味を持った幅広い年齢の人々が全国から集まり、新たなつながりが生まれている。死者行方不明者合わせて1万8千人を超える東日本大震災が発生した年、「今年の漢字」には「互いに助け合って生きる」という言葉が選ばれた。被災地にもたくさんの支援が送られ、新たな人と人とのつながりが生まれ復興に向けて進んでいるように見られた。しかしあれから6年、ボランティアで知り合った現地の人たちなどから話を聞くと、メディアでの報道や支援が減っている。震災が人々の間で風化していると感じる。文化部のインターハイと言われる総合文化祭が、今年は宮城県で開催される。新聞委員会編集部も、都代表として参加する。大会中は、全国の新聞部員と、石巻の市場や名産品の仮設住宅など、被災地の復興の現状や課題を研修取材する。錦城高校新聞でも、被災地の風化していく現状や、そこで生まれ続けているつながりを取材していきたい。みんなに伝えられたらと思う。(棟)